

Bridolly

text and
paintings by
Kenji Shimizu

vol. 3 月刊ブリドリ



Carp Riding F6



第三回

現代花鳥図 志水堅二作品展

5月1日～7日・岡山天満屋5美術ギャラリー

試行錯誤

描かなくてはいけない作品が溜まっている。

乾き待ちの間に他の絵を描く、なんてことが出来ればもう少し効率よく進むのだろう。

そう、僕は複数作品の同時進行が苦手なのだ。

エスキースをして、パネルの縦横、サイズ等を決めて下地を塗るところから始まって描画、サインを入れるまで一気にやる。性格上、工程通りの作業というものが嫌いで

毎回実験や挑戦を試みてしまうのも理由のひとつ。効率は悪いがいろいろ試すと一点描き終わるたび何か一つ得るものがあるのだ。三点描けば三つ成果がある。

これを効率重視で三点同時進行すれば成果はひとつだけ。非常にもったいない。

というのが僕の持論である。

が、まあちょっと言い訳でもある、正直なところ効率よく描けるならそうしたい。

とにかく、あーでもないこーでもないで戦っているとそうポンポン何点も描けるもんじゃないのだ。と、思っていたのだが、つい先日、中島千波先生のご自宅にお邪魔させて

いただく機会があり、アトリエを拝見させていただいたのだが、壁には制作中の大作が数点、床も描きかけの小品と膨大なスケッチ資料で埋め尽くされていた。

「さすが先生、同時進行で迷いなくどんどん描いている感じだ。試行錯誤とかなんだろうな……」

と思ったのだが、よく見ると納得いかず画面を洗った作品が数点あった。

「た、戦ってる……」

戦いながらもあれだけの点数を描いているのだ。

脱帽である……

Shimizu 